

がん専門修練医 コース	対象者	原則として以下の全てに該当する一定レベル以上の経験と実績を有する医師を対象とする ・当センターのレジデント修了者 ・日本耳鼻咽喉科学会専門医を取得済みもしくは取得見込み ・上記と同等の能力を有する医師
	研修目標	・頭頸部がん手術の技術習得 ・頭頸部がん専門医取得 ・国内外の学会での筆頭演者、Peer review journal での筆頭著者
	研修内容	研修年限は2年で、基本的に頭頸部外科を専攻 ※頭頸部内科等で数ヶ月研修を受ける事も可能です
	研修の特色	・一定レベル以上の経験と実績を有する医師を対象としたコースです ・耳鼻咽喉科専門医研修施設および頭頸部がん専門医指定研修施設です
レジデント 3年コース	対象者	原則として以下の全ての条件を満たした医師を対象としています ・採用時に医師免許取得後3年目以降 ・基本領域専門医または認定医取得済みもしくは取得見込み
	研修目標	・頭頸部がんに関する臨床および基礎の知識の習得 ・頭頸部がん手術の技術習得 ・国内外の学会での筆頭演者、Peer review journal での筆頭著者
	研修内容	研修期間のうち1年以上頭頸部外科に在籍し、それ以外の期間は自由選択 ※頭頸部内科、放射線治療科、病理、食道外科等で研修可能 ※耳鼻咽喉科専門医・頭頸部がん専門医取得に向けた研修
	研修の特色	・頭頸部外科研修だけでなくがん診療に関する幅広い診療経験を積むことができます ・国際学会、Peer review journal 論文執筆等の研究活動の機会も十分確保されています ・耳鼻咽喉科専門医研修施設および頭頸部がん専門医指定研修施設です
レジデント 2年コース	対象者	原則として以下の全ての条件を満たした医師を対象としています ・採用時に医師免許取得後3年目以降 ・基本領域専門医または認定医取得済みもしくは取得見込み
	研修目標	・頭頸部がんに関する臨床および基礎の知識の習得 ・頭頸部がん手術の技術習得 ・国内外の学会での筆頭演者、Peer review journal での筆頭著者
	研修内容	研修期間のうち1年以上頭頸部外科に在籍し、それ以外の期間は自由選択 ※頭頸部内科、放射線治療科、病理、食道外科等で研修可能 ※耳鼻咽喉科専門医・頭頸部がん専門医取得に向けた研修
	研修の特色	・頭頸部外科を中心に診療経験を積むことができます ・耳鼻咽喉科専門医研修施設および頭頸部がん専門医指定研修施設です

連携大学院 コース (4～5年コ ース)	対象者	・レジデント3年コースまたは2年コースに準ずる
	研修目標	・専門医取得：頭頸部がん専門医 ・学位取得：社会人大学院制度（順天堂、慶應、慈恵医大、長崎大） ・研究：国際学会での筆頭演者、Peer review journal での筆頭著者
	研修内容	3年もしくは2年のレジデントコースに、2年のがん専門修練医コースをあわせたプログラムです ※がん専門修練医への採用には、再度選考試験があります ※前半の3年もしくは2年の研修期間は、当該コースの内容に準じます ※後半2年のがん専門修練医コースは、当該コースの内容に準じます 連携大学院制度を用いた学位取得を念頭に、1年目から研究の指導を受けられます
	研修の特色	・頭頸部がん専門医取得と同時に、学位取得を目指すコースです ・国立がん研究センターの診療、研究に基づく、専門医取得、学位取得が可能です ・耳鼻咽喉科専門医研修施設および頭頸部がん専門医指定研修施設です
レジデント 短期コース	対象者	原則として基本領域専門医取得済みもしくは取得見込みの医師を対象とする
	研修目標	短期間の研修で、頭頸部がんの基本的な診療経験を積むことを目標としています
	研修内容	頭頸部外科に、最短3か月から最長2年未満の期間在籍します ※原則として3か月単位とする ※全体の在籍期間が1年以内であれば、他の診療科（頭頸部内科、放射線治療科、病理、食道外科等）と組み合わせた研修も可能
	研修の特色	・研修者のニーズにあわせて柔軟な研修期間設定が可能です ・耳鼻咽喉科専門医研修施設および頭頸部がん専門医指定研修施設です
専攻医 コース	対象者	基本領域専門医のため研修中の専攻医を対象としたコースです 下記の全ての条件を満たした医師が対象となります ・医学部卒業後3年目以降 ・専門医制度の連携施設として国立がん研究センター東病院を選択した専攻医
	研修目標	短期間の研修で、基本的ながんの診療経験を積むことを目標としています
	研修内容	国立がん研究センター東病院に、3か月単位、最長2年間在籍します 希望に応じて関連各科等の診療科を、各科最短3か月単位でローテーションします
	研修の特色	研修者のニーズにあわせて柔軟な研修期間設定が可能です